



さつまいもの病害対策のポイント⑥

【異常株の抜き取り、苗消毒、排水対策】



県農政部農産園芸課

ほ場に基腐病菌を「持ち込まない」「増やさない」対策の徹底 —令和8年産に向けて、油断することなく取り組みましょう！—

【育苗】 育苗床を定期的に見回り、異常株の早期発見・抜き取り・持ち出しを！

- 葉が変色したり、基部が黒変している株は、株ごと抜き取りましょう。
なお、種いもを用いた育苗の場合は、種いもごと掘り上げ、抜き取った株は、ほ場外へ持ち出しましょう。
- 抜き取り後は、速やかに銅剤を散布しましょう。



【植付】 植付前には、必ず苗消毒を！

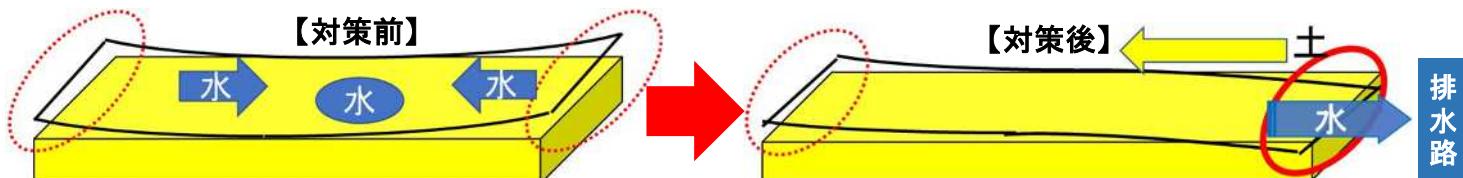


- 採苗は地際から5cm以上高い位置で行いましょう。
- 採苗で使用するハサミは、こまめに消毒(水洗いと拭き取り)しましょう。
- 苗全体を薬液に浸けるようにし、薬液は使用日ごとに毎回調製しましょう。

農薬の名称	適用病害虫名	希釀倍率	使用時期
ベンレート水和剤	基腐病、つる割病、黒斑病	500～1000倍	植付前
ベンレートT水和剤20	基腐病、つる割病、黒斑病	200倍	植付前

【ほ場】 ほ場に水が溜まらないよう、排水対策を！

- 基腐病菌は水を介してまん延するため、水はけが悪いほ場で感染株が増加します。
- 耕うん、畠立て作業でトラクターが旋回する枕地に土が寄り、ほ場の中央部が凹んで水が溜まりやすくなっています。 ⇒ 2～3年に一度は枕地の土をほ場の中央部へ戻す作業を行いましょう。
- ほ場の枕地から中央部に向かって、ロータリーで逆転耕をすることで土を戻しましょう。



※ 近年、一部のほ場でさつまいもの収穫時に、基腐病以外の腐敗症状が見られます。腐敗の要因は、いもが害虫(コガネムシ等)の被害を受けた傷や、排水不良等により腐敗した部分から細菌等が感染したことによるものです。畠立て時にコガネムシ等の害虫防除にもしっかり取り組みましょう！

ご不明な点がありましたら、お近くのサツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム（事務局：地域振興局・熊毛支庁農政普及課）にご連絡ください。

※本資料は生研支援センター「イノベーション創出強化研究進事業(01020C)」、「戦略的スマート農業技術等の開発・改良(SA2-102N)」の成果を活用しました。